



こどもタイムズ

2013.7.1
平成25年 25号

発行：多可町教育委員会
〒679-1134 多可郡多可町中区茂利20
☎0795-32-2385
E-mail kodomo@town.taka.lg.jp



おもな内容

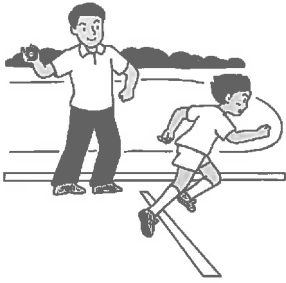
- ・教育委員会特集
部活動アンケート結果
ノ一部活動デーの取組
- ・びっくあっぷ学校園
- ・あったかトピック

部活動アンケートを実施しました

【はじめに】

小学校から中学校に進学した子どもたちに、中学校に入って何が楽しみかと聞いてみると、部活動と答える生徒が圧倒的に多いようです。逆に言えば部活動が楽しいか楽しくないかで、充実した中学校生活を送れるかどうか左右されることになりそうです。

今回、子どもたちが部活動についてどのように感じているのかアンケートを実施しましたので、その結果を報告します。



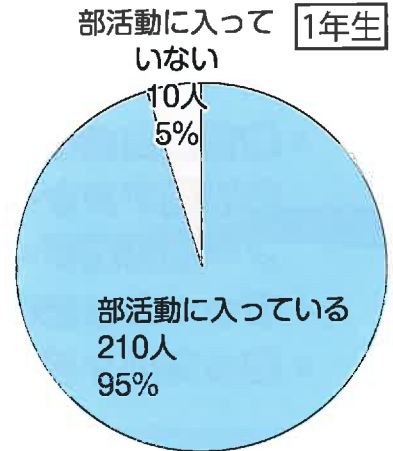
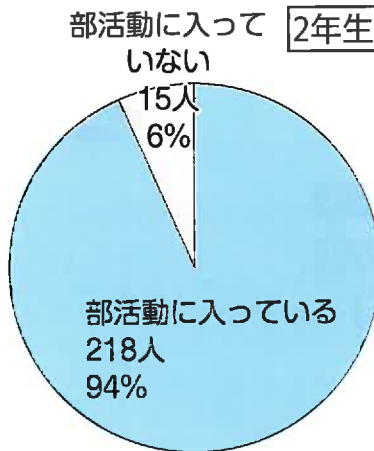
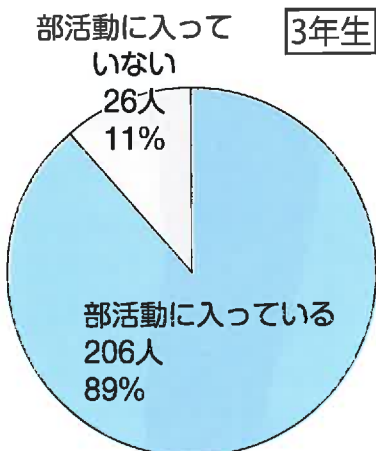
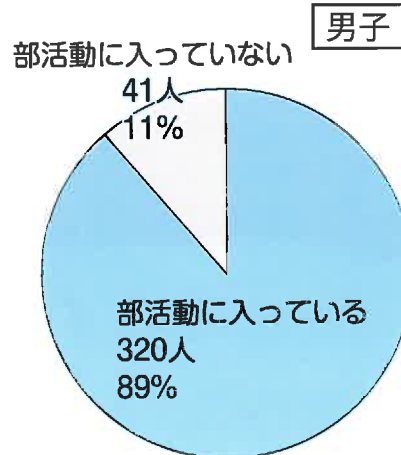
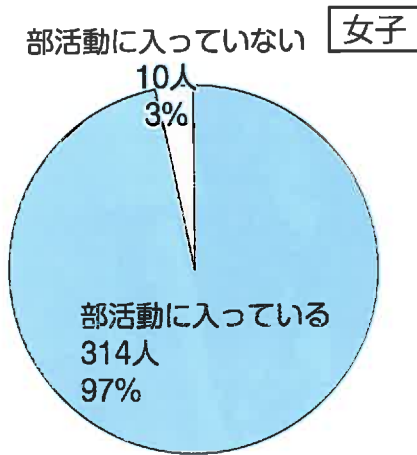
問1 部活動に入っていますか (人数)

ア 入っている イ 入っていない

学年	男子		男子計	女子		女子計	小計		合計
	ア	イ		ア	イ		ア	イ	
1年	107	9	116	103	1	104	210	10	220
2年	111	13	124	107	2	109	218	15	233
3年	102	19	121	104	7	111	206	26	232
小計	320	41	361	314	10	324	634	51	685
合計	361			324			685		

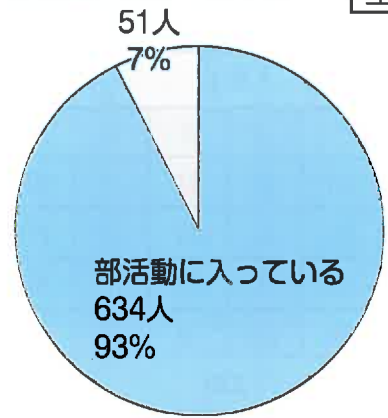
問1 あなたは今、部活動に入っていますか？

男女別にみると



全体

部活動に入っていない



全体で見ても、**93%の生徒が部活動に入っている**ことがわかります。
 男女別で見ると、男子が89%、女子が97%なので、**女子の方が入部率が高い**ことがわかります。
 また学年別で見ると、1年が95%、2年が94%、3年が89%と**学年が上がるにつれて入部率が下が**っていていることもわかります。



- 部活動に入っている理由 (抜粋)**
- ・小学校から入っていたクラブが楽しくて、続けたかったから
 - ・体力をつけたかったから
 - ・充実した中学校生活を送りたいから
 - ・運動不足で身体を動かさないと健康に関わるから
 - ・やりたい楽器がかっこいいと思ったから
 - ・先輩と親しくなれるし、友達とも仲良くできるから
 - ・先輩がやっているのを見てかっこよかったから
 - ・走るのが好きだから



- 部活動に入っていない理由 (抜粋)**
- ・クラブチームに所属しているから
 - ・最初は入部していたが途中でやめたから
 - ・部活より勉強の方に集中したいから
 - ・他に習い事をしていて、部活の練習に参加できないから



中学校で平日週一回以上の ノー部活デーを実施します



中学校における部活動については、練習の成果を試合等で発揮することにより達成感や成就感を味わう中で自信をつけたり、逆に悔しい思いを経験する中で我慢する強い心が

育つたりもします。さらに、一生涯続く友情を築く場となるなど、人格形成上重要な教育的意義を持つ活動でもあります。

このように部活動は「生きる力」を育むために大変有意義な活動ではありますが、また次のような課題も抱えています。

【部活動における課題】

- 1 勝利至上主義的な考え方から生徒に過度の練習を強いるケースがある
- 2 生徒数の大幅な減少による部員数の減少や顧問数の減少
- 3 生徒や教員のゆとりが無くなってきている



部活動においては、長時間・長期間にわたる過度な練習により、スポーツ障害の要因だけでなく、心にも疲弊をきたすこともあります。また、学校を取り巻く環境が大きく変化する中、学力の向上やいじめ等の様々な問題を解決していくためには、教職員が生徒とじっくり向き合う時間を確保することも重要と考えています。

そこで多可町の各中学校では平日

は週一回以上部活動のない「ノー部

活デー」を設定することになりました。

「ノー部活デー」の実施により、休養や規則正しい生活は、科学的にもケガの防止や効率的な活動につながり、家族とのふれあいや趣味等の時間をもつことで、生徒や教職員の心身のフレッシュを促し、生徒に向き合う時間と生徒のゆとりある生活と実りある部活動が実現できる環境づくりを進めていきます。



多可町の全ての学校で 教職員定時退勤日を 実施します

平成24年度に兵庫県教育委員会が
県内の小・中・高等学校及び特別支
援学校を対象に実施した「教職員勤
務実態調査」の結果は、教員の平日
一日あたりの平均労働時間は10時間
46分となっており、その時間的・精
神的負担が増大していることが判明
しました。

そこで、兵庫県教育委員会から、
平成25年度より、週一回以上の「教
職員定時退勤日」を県内すべての学
校において設定・実施するよう、各
市町教育委員会に依頼がありまし
た。

多可町教育委員会としても「教職
員定時退勤日」の実施により、教職

員のワーク・ライフ・バランス（仕
事と生活の調和）を実現すること
で、すべての教職員が精神的なゆと
りを持って、一人一人の児童生徒に
向き合うことのできる環境づくりを
進めたいと考えています。

学校によって、曜日はまちまちで
すが、今年度より全ての学校で、
ノー部活デーやノー会議デーとセッ
トで教職員の定時退勤日を実施して
います。退勤時刻は多くの学校で18
時に設定しています。ご理解をどう
ぞよろしくお願いいたします。



ぷ学校園



中町幼稚園

園内の自然にふれて、見て、感じる

中町幼稚園は、素晴らしい自然環境に恵まれており、自然とのかかわりを大事にしています。園内には、様々な種類の木々があり、五月には自分が選んだお気に入りの木を「ぼくの木・わたしの木」として名札を付けて、一年間の木々の変化や様子を観察していきます。

また、クリやカキ、ブルーベリー、アケビ、サクランボなど、実のなる木もたくさんあります。これらの実が大きくなって色づいていく様子を見たり、収穫をしたりします。

身近な自然とふれあう中で、様々なことに興味や関心をもって、心豊かな子どもに育ってほしいと思っています。

年間を通して、花や野菜の栽培活動もしています。



五月には、アサガオやフウセンカズラ、マリーゴールドの種をまいたり、夏野菜の苗を植えたりします。

夏野菜は、昨年から親子で苗を植えて、一人一鉢栽培をしています。キュウリ・ナス・ミニトマト・オクラなどの苗を五月の参観日に各家庭から持って来ていただき、おうちの方と一緒に植えました。それから毎日、ペットボトルで作ったマイじょうろで「大きなあれ」と水をやりをしています。

おうちの人と相談して苗を選び、一緒に苗を植えて世話をすることで、自分の野菜の生長がとてもしみじみ様子の子ども達です。保護者の方も苗選びから苗植えを通して、栽培活動に関心をもたれています。

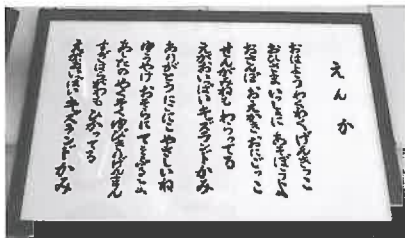
このような活動を通して収穫した野菜を喜んで食べてくれることを願っています。



キッズランドかみ

キッズランドかみに新しい友達がたくさん増えました。全園児一五九名になりました。みんな園生活にも慣れて毎日楽しく元気に遊んでいます。仲間入りしたものは他にもあります。

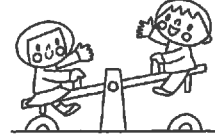
一つ目は園歌です。キッズランドかみに念願の園歌ができました。先日行われた、総会やひまわりまつりで、お家の方達の前で披露しました。作詞、作曲、園歌額も地域の方達が作ってくださいました。園歌の歌詞にもあるように、いつも笑顔いっぱい楽しく過ごしていきたいと思います。



素敵な園歌、ありがとうございました！大切に歌っていきます！



えがおいっぱいキッズランドかみ



おいしいお料理を作りますよー！



ログハウスの裏には…
にっこり顔が♡



二つ目は、園庭に素敵なログハウスが建ちました。ログハウスでは、ごっこ遊びをしたりロフトで寝転んだりして、思い思いの遊びを楽しんでいます。また、遊びが広がっていくように、平均台や巧技台などをつなげてアスレチックとしても活用しています。今後はログハウスの名前も決めて更に遊びを盛り上げていきたいと思っています。

3年目を迎えたキッズランドかみは、地域のみなさんに支えられ、子ども達は今日も元気いっぱい遊んでいます。

ぴっくあっぷ



キッズランドやちよ



★ふれあい広場★
花びらやマーカーパーンで色水づくりをしてジュース屋さんをしています。いろいろな色水を混ぜるのも楽しいようです。色水と石鹸でつくった泡ホイップを混ぜて、色付きホイップを土団子にのせて、パフェの出来上がりです。

キッズランドやちよでは、登園後は戸外に出て、好きな遊びをたっぷり楽しんでいきます。3つの遊ぶエリアがあり、子ども達自身が、好きな場所を自ら選んでいます。エリアには担当職員がおり、職員同士の協力体制をもとに、遊びの充実を図っています。0〜3歳児は、園生活に慣れるまで、保育者やクラスとの友達と一緒に遊びに参加しており、キッズランドやちよではどんな遊びがあるのか冒険中です。

キラキラ輝くキッズやちよ

★運動場★
運動場エリアでは、運動遊具を使った遊びを中心に、いろいろなことに挑戦して遊んでいます。竹馬、一輪車、登り棒、大縄跳びなどを頑張っている子ども達。心と体もたくましくなりそうです。毎週水曜日にはFCファルコの祐尾コーチに来ていただき、コーチならではの遊びを教えてくださいたいです。



★林広場★
観察ケースいっぱいにかエルを捕まえた5歳児。そのケースが気になった3歳児が嬉しそうに覗いていました。すると、「さわってみる？」と声をかけた子がいて、カエル屋さんが開店しました。大きなトノサマカエルがいて、3歳児に「握手するか？」と優しく話しかけていました。



中町南小学校

都道府県の読みを声をそろえて言っていきます。ここまでで約十分。子ども達の元気いっぱい声が教室に響



暗唱が終わったら、漢字の読みや

午前八時二十分、四年生の教室をのぞいてみましょう。まず、「あ・い・う・え・お」の口の開け方の練習をします。全員がしっかりと口を開き、大きな声で発声します。テキストを開き、詩文を読み上げます。何度も繰り返し練習しているの、テキストを見る子は少ないです。まっすぐに前を見て、集中して暗唱しま



本校のモジュール学習は、平成十九年度にスタートしました。今年で七年目を迎えます。基礎・基本の定着と学習規律の向上を図るため、火、水、木曜日の朝二十分間を使って実施しています。

**大きな声が響き渡って
モジュール学習七年目**

ね！最初から感動を与えてもらいました。」



「大きな声で、はつきりと、みんなの顔が真剣で、あまりの迫力に身体がビリビリと震えま

今年度のPTA総会の前に、本校六年生が、モジュールの発表をしました。保護者の声です。「大きな声で、はつきりと、みんなの顔が真剣で、あまりの迫力に身体がビリビリと震えま



「始めー」の合図で、鉛筆が一斉に動き出す。終了後、答え合わせをします。答え合わせもリズムとテンポでサツサツとチエツクをします。

次に、計算プリントをします。プリントは両面に印刷がしてあり、それぞれ割り算の計算が五十問並んでいます。「始めー」の合図で、鉛筆が一斉に動き出す。終了後、答え合わせをします。答え合わせもリズムとテンポでサツサツとチエツクをします。

ぷ学校園



中町北小学校



創立百周年記念誌に、昭和21〜38年まで在職された岸本清一先生の懐古文が掲載されています。

「笹倉校長先生の愛校心は、私の心からはなれません。その一つに今も校舎を囲む緑の木々をこつこつと植えられたことです。この『緑の学校』は、いつまでも残っていくことでしょう」

中町北小学校には、「ふるさと」の巨樹に指定されているセンドンをはじめ、イブキやイチヨウ・クスノキ・プラタナスなどの大きな木がたくさんあります。桜やツツジ・サツキなどの花の咲く木も多く、季節の變化を身近に感じさせてくれます。

これら校舎を囲む樹木や岩石園・花壇などの多くは、昭和30年代から

50年代にかけて、歴代の教職員と児童が、地域の協力により、少しずつ作り上げてきたものです。



環境委員会で花苗を植えました

先人の心を引き継ぎ、緑と花の学校を守ろうと、児童会環境委員会では、中庭の花壇やプラントーに花を植えています。年二回の苗の定植は、園芸担当教員と校務員さんの指導のもと全員で数百本の花苗を植えます。

毎日の水やりは当番で暑い日も寒い日も欠かさず行っています。

松井小学校

凡時徹底のなかで一歩前進する松井小学校

松井小学校では、引き続き、学校教育目標を「人権尊重の心を持ち、ふるさと多可町を愛し、心身ともに健康で意欲的に学ぶ子の育成」がやりましよう」と設定し、子ども達の笑顔いっぱい学校を目指します。

平成25年度の取組の二つを紹介します。

まず、「いっそう広がるのあるあいさつ運動」の取組です。昨年度より「あかるく、いっでも さきに つづける」をキャッチフレーズに、朝の校門で、校長をはじめ教職員で、交通安全の見守りとあわせて、一番のさわやかなあいさつを通して絆づくりを行っています。



本年度は、児童会の子どものリードのもと、子ども達の取組が自主的に始まりました。朝に児童会や学級代表が立ち、さわやかな「おはよう」の音が響く中で一日のスタートです。さらに、5月中旬から、校内ですれ違う人に、10時までは「おはよう」それ以降は「こんにちは」を自分から進んで行うことにも取り組んでいます。「いっ

でも どこでも 何度でも」を合言葉に、ますます校内にあいさつの声があがっています。

もう一つは、学力向上と自律心の育成に向けた音読の新たな取り組みです。

朝一番の音読は、脳の活性化を図り、一日の頭の回転に最適であるといわれます。

5月22日より週3回、各学級で担任の声に合わせた一斉の音読活動を始めました。これは、音読指導のスペシャリストであるまねび学園の石橋淑子氏を招き指導を受けたものを本年度より実施しています。先行事例として尾道市立土堂小学校等で行われており、学力や集中力の向上に有効とされています。「早寝、早起き、朝ごはん」と併せての取組で成果が期待できるといわれています。

あいさつも朝の音読も凡時徹底(あたりまえのこと)をしつかり)の中で繰り返すことが大切であると見え、松井小学校の文化となるよう取り組んでいきます。





ぴっくあっぷ

元気いっぱい 笑顔かがやく 杉っ子

～「児童会活動」の取組から～

杉原谷小学校では本年度の児童会活動のスローガンを、「元気いっぱい 笑顔かがやく 杉っ子」と定め、この目標に向かって様々な取組を進めています。

一つ目は、「あいさつ運動」です。三年生以上の代表委員会のメンバーが年間を通して玄関前に立ち、元気なあいさつの輪を広げようと頑張っています。毎朝、「おはようございます。」と、さわやかな声が響き渡ると、

とても気持ちがいいものです。「あいさつは心を開く第一歩」と言われるように、周りの人として、進んであいさつができる児童を育成していきます。

二つ目は、異年齢集団の縦割り班「わくわくわく班」を編成し、第四金曜日の業間休みに「わくわくタイム」と

称して縦割り班遊びを行います。異年齢集団の中で、低学年は社会性を身につける場、高学年は班のリーダーとして主体的に活動し、責任感や思いやりの心を育む場と位置づけています。低学年の児童はこの時間をとても楽しみにしています。



三つ目は、学期ごとに実施する「アルミ缶回収」の取組です。家庭の協力も得ながら児童がアルミ缶を回収し、そこから得た収益を東日本大震災の義援金として、これまでに二回、宮城県の山元町に送りました。自分たちの小さな取組が、被災された人々の役に立っているのだという喜びを感じられるように、この活動の価値を意味づけながら取り組んでいきたいと考えています。



八千代南小学校では生活に係わる約束事をみんなで作る、毎日が楽しく安全に過ごせるように頑張っています。「6つの約束」とは、次の通りです。

- ① あいさつとお礼が言える
- ② 丁寧な言葉づかいができる
- ③ 一生懸命に掃除をする
- ④ 校舎内で暴れたり、走ったりしない
- ⑤ いじめや仲間外れはしない
- ⑥ きちんと並んで登下校をする

みんなで作ろう 6つの約束

八千代南小学校では生活に係わる約束事をみんなで作る、毎日が楽しく安全に過ごせるように頑張っています。「6つの約束」とは、次の通りです。



学級委員や児童会役員から構成される代表委員会で、「6つの約束」に関連する内容で毎月の内容を決め、全校生に呼びかけています。守れていない約束事があれば、学校全体で取り組んでいきます。学校では子どもたち一人一人が約束を守られたか、自分で評価をします。学級(学年)ごとに



それを集計して自分たちの頑張りがどうだったかを反省していただきます。

また、きちんとした生活習慣を身につけるためには、学校だけでなく家庭の協力も大事です。学校での取組について、学級懇談会や学校だより等でお知らせをし、家庭での指導もお願いしています。きちんとした生活習慣を身につけ、友だちに迷惑をかけず、また、自分も楽しく過ごせるようにという、この取組は今年で3年目を迎えました。

このたび、「6つの約束」の愛唱歌もできました。これからは愛唱歌を口ずさみながら、気持ちのよい毎日をみんなですべてしていきます。



(→児童集会「6つの約束守ろうぜ」より)

杉原谷小学校

八千代南小学校

ぷ学校園



八千代北小学校

千北 児童集会

「僕たちのクラス自慢は…」大きな声で誇らしげに語る学級代表児童。5月27日(月)、「学級自慢」をテーマに行われた児童集会での一コマです。児童集会とは、月曜日の朝、授業が始まる前に行われる集会活動で、年間24回予定されているうち、「校長先生の話」が中心となる朝会が10回なのに対して、児童の発表が中心となるこの児童集会は14回も行われます。



「自慢」の他、「各学年の発表(6年…修学旅行、5年…自然学校等)」「各委員会からの発表」「音楽集会」「縄跳び集会」等があります。運動会等の大きな行事と比べると地味な活動ですが、こういった日々の地道な活動が、児童たちの「自尊感情高揚」「自浄作用」に役立っています。

八千代西小学校

全校児童による 田植え



「足が…」 足が：「いや〜」等々、もう大騒ぎです。6月6日(木)、地域ボランティアの皆様にお世話になり、全校児童による「田植え」を行いました。最初に坂本の森位晃三さんから「田植え」の仕方について説明していただいた後、女性の方に植え方の見本を見せてもらいました。そしていよいよ児童による田植え開始! ささゆり班(1〜6年生までの縦割り班)に分かれて、上級生が下級生を助けながらの作業です。先生があげ道から投げた苗を上手にキャッチ! かしこれを受け損なったら服や顔に泥のしぶきが飛び散って大変です。なぜか全身泥だらけの児童が…。それでも何とか田植え完了。地域の皆様、本当にありがとうございます。秋の稲刈りも楽しみにしています。



楽しく食べる子どもに ～ふれあい給食とお誕生日給食～

平成17年に食育基本法(平成21年最終改正)が制定され、「食育」が「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」として改めて位置づけられました。その前年に厚労省から出された報告書「楽しく食べる子どもに」の中に、「楽しく食べることは、生活の質(QOL)の向上につながるものであり、身体的、精神的、社会的健康につながるものです。子どもにおいて、食事の楽しさは、食欲や健康状態、食事内容、一緒に食べる人、食事の手伝いと関わったことと関連しており、食生活全体の良好な状態を示す指標の1つと考えられます。」との記述があります。



本校では、給食を楽しく食べる取組として、毎月1回1〜6年生が校長室で給食を食べる「ふれあい給食」を行っています。本年度からはその取組を月2回に増やし、内容も、一つの学年の児童が他の学年の教室に行つて食べる「ふれあい給食」と、誕生月の児童が校長室に集まって食べる「お誕生日給食」を行うことになりました。

1年生と一緒に給食を食べた6年生は、「自分も5年前はこの教室で、1年生として給食を食べていたと思うと何かなつかしかった。」と感想を話していました。また、お誕生日給食では、先生や同じ生まれ月の友だちとの楽しいコミュニケーションがあり、健康委員会の児童手作りのメッセージカードと記念写真もプレゼントされて好評です。

この新たな2つの取組は、食育の基本である「楽しく食べる」ことの実践の場となっています。



2013.5.14お誕生日給食

ぴっくあつ



リーダー研修会！ 自分たちの手で！

平成二十二年三月から続いているリーダー研修会。生徒会役員と全教師とが合同で、より良い中町中学校づくりを目指して始まり、今回で四回目を迎えました。



生徒会長の決意表明で始まり、集団訓練、ラジオ体操で体をほぐし、「リーダーとして必要とされる力」

「中町中学校をこんな学校にしたい(理想の学校)」「(理想の学校)」「(理想の学校)を実現するための現在の課題」の三つのテーマについて四つの班にわかれて協議をしていきました。自分たちで出しあったいろいろな意見を教師の支援を受けながら班の意見としてまとめ、発表



中町中学校

好きです 中町中



をしていきます。お昼には、教師と共に各班で昼食をとり、レクリエーションで生徒と教師のコミュニケーションの浸透を図り、「校歌」「翼をください」の練習では教師集団に負けぬように大きな歌声が響き渡りました。

修了式では、やる気と自信に満ちた生徒たちのすがすがしい顔が並び、たくましさを感じました。

四月から生徒会リーダーを中心にさまざまな取り組みを進め、そのやる気の後押しされるように全校生が一丸となって学校生活を送っており、野外活動や修学旅行、トライやる・ウィークをしつかりとやりきってくれました。



今後の学校生活もより充実したものに期待しています。二期にはオープンスクールを予定しています。是非、多くの皆様に来校いただき頑張っている中町中生を励ましていただきます。と思います。

学校を飛び出して地域で学んだ一週間

二年生七十名が、多可郡内二十八カ所の事業所でトライやる・ウィークの活動に励みました。

造園業で活動した生徒は、「草引きを五日間させていただいた。事業所の方々は毎日されていてすごいと思った。自分が作業を行った場所に、一年後花が咲いているか見に行きたいと思う。」

製造業で活動した生徒は、「ミスをとくさんしてしまっただけ。しかし「しゃあない、しゃあない」と優しく言ってくれた。仲間と協力した日々、感謝の気持ちを忘れられないようにしたい。」

「初めての作業がほとんどだった。職場に通うこと自体に体力が必要だったし休憩も思っていたより少なく、不安や心配事いっぱいだった。しかし、周りの方々に助けていただいた一週間充実した日々を過ごすこ



〔ラベンダーパーク〕

〔細田書店〕



〔足立醸造〕



〔役場総務課〕

とが出来た。僕もいずれは社会に出るので仕事の厳しさや大切さを生かしていきたい。」
販売業・公共施設では休日活動を行った生徒もいました。は姫路まで行ったという生徒もいました。

事業所の方には忙しい中、丁寧に指導をいただき、生徒にとつてかけがえのない活動となりました。「熱心にメモをとる等、将来が楽しみです。頑張ってください。」というメッセージをはじめ、協力いただいた皆様からは温かい言葉をたくさんいただきました。

各事業所で学校では学べない多くのことを学ばせていただいたことを生徒の表情から感じています。

本活動は、時間を守ることに、清掃、挨拶の大切さを考える上でまたとない機会になりました。今後の学校生活に生かしていただくと思います。

加美中学校

ぷ学校園



八千代中学校

「敬者の心」を培うボランティア

八千代中学校では、毎年夏休みのお盆前と冬休みのお正月前に生徒会を中心に、全校生徒が八千代区内の特別養護老人ホーム「楽久園」を訪れ、入所者の方々が気持ち良くお盆、お正月を過ごせるよう、大掃除のボランティア活動を行っています。

施設内の窓ふきや草刈り、車いすの掃除等々に約2時間、一生懸命に作業をします。

作業後には、昼食の「食事介助」に参加してくれる有志生徒もいます。

この活動は、歴史があり、昭和58年12月28日に当時の生徒会運営委員会が「校内清掃活動」を生徒会の活動事業に掲げたのが始まりで、3年後の昭和61年12月26日には35名の有志生徒で第1回の「楽久園奉仕作業」がスタート。以後全校生徒参加の形態に発展し、今年でもう28年間も続いており、今や八千代中学校の伝統でもあります。



また毎年7月半ばには3年生が総合学習の一環として、お年寄りの方々と「交流会」も開催しています。「輪投げ」や「ボーリング」「トランプ」「かるた」、その他生徒たちが考えた遊びで交流を深めており、微笑ましい光景が繰り広げられます。

こういった活動を通じ、本校生徒が「お年寄りを大切にする心」、「ボランティア精神」を今まで以上に身につけてくれることでしょうか。いつまでも続けたい活動です。

みどり保育所

意欲と思いやりの心を育てる

みどり保育所では、自立心・思いやりの心・情操豊かな心などの成長を目標に、自然とかかわる遊び・運動遊び・絵本の読み聞かせ・食育など様々な直接体験をしています。

昨年から5歳児保育(就学前教育)も始めました。子どもから出てきた疑問・やってみたいと思うことなど、自分たちで考え調べていくことで、自分で物事を考えられるようにしています。子どもの欲求にスムーズに答えられるように、園独自のバスを購入しました。毎日飲んでる牛乳、どうやってできているのか?その疑問から、共進牧場で、牛乳工場と牧場の見学に行きました。初めてみる牛、第一声は「くさい」でした。大きな牛が近づいてくるとびっくりして逃げていました。そのうち、



一人が恐る恐る触ってみると、他の子ども、勇気を出して触っていました。最初は「くさい」と言っていました。最初は「くさい」と「あたたかい、やわらかかった」など、触れなかったのに触れた事で子どもの目はキラキラ輝いていて、自信に充ち溢れた



〈田んぼで泥んこ遊び〉



〈野草のてんぷら〉

表情になっていました。小学生の学童保育を始めました。小学生が園に帰ってくると、自然と子ども達から「ただいま」「おかえり」と、小学生と園児とのつながりができています。保育所を卒園して終わりではなく、地域に根差し、いつまでも子どもの成長を保護者・地域の方と共有出来る、地域に必要な子育て施設として、子ども達の成長に携わっていききたいと思っています。



びっくあっぷ

多可町の豊かな自然の中で

あさか保育園では「自立する子 健康な子 情操豊かな子」を保育目標として毎日の保育を行っています。

第一に自分の事は自分でやるうとする気持ちを大切に、生活習慣の自立を目指します。

次に、遊びが大好きで熱中できる子に育ってほしいと願い、特に戸外、多可町の誇れる豊かな自然の中で思いっきり遊びまわる事を大切にしています。

三つ目に、心の豊かな、想像力にあふれた子どもに育つよう絵本の読み聞かせを大切にしています。

子どもが成長していく上で最も大切なことは「生活習慣の自立」だとおもいますが、この多可町ならではの保育・子育て環境としてはなんととっても「豊かな自然」ではないでしょうか？



あさか保育園では、広い園庭でも遊びますが、周りの田んぼや山にも気軽に出入りしています。特に、子どもたちが園生活に慣れてきた秋には、みんなお散歩に

あさか保育園

出かけ、時には保育園が空っぽになる事もあります。

そんな中、五歳児保育では昨年より、毎月山登りに挑戦しています。昨年度は、主になかの山道を制覇することを中心にして、浅香山等にも登り、三月にはお父さんやお母さんと一緒にお別れ登山を楽しみました。

今年も、それに加えて多可町の最高峰「千ガ峰」にも挑戦してみたいと考えています。



子どもたちが大人になった時、この多可町のすばらしさを再発見してくれること願います。

子どもの世界を大切に

四恩保育所では、モンテッソーリ教育の理念に基いた保育と、周囲の自然を取り込み、地域の皆様の協力を得て保育を行っています。

保育所生活では、0歳～2歳、3歳～5歳の縦割り保育を行っています。異年齢で生活する中で、子ども達は自分の事だけでなく周囲の他の



年齢の子と自然に関わる時間が持てます。その中で大きな子が、小さい子にさっと手をさしのべたり、小さい子たちは大きい子

四恩保育所

の遊びを真似て生活しています。そこには、大人が中心になる保育ではなく、子どもたちが作りだす生活の場があり、それを大切にしていきます。



そこで見られるのが、見て学んでいる子の姿です。活動をする子はもちろんです。その活動を熱心に見ている子がいます。子どもの観察する力は大人が思っている以上にすごいもので、教えられていない事を自然に自分のものにしていきます。こういった見通しが持てる環境は子どもたちにとって、一番よいといわれています。子どもたちが自分たちで考え活動できる力を育てていきたいと考えています。自分たちで考え、活動し、心と体を満足させる。その活動を支えられる環境づくりに取り組みたいです。



今日はどこに行こうかな? 子ども向けカレンダー 7月号

日にち	子育てふれあいセンター 37-2525	こども未来館 32-2385	児童館 中 32-4328 みなみ35-1420	那珂小れあい館 32-0686	多可町児童館 32-5170	学校行事	その他
1 (月)		■ (杉小)	休館日	休館日	休館日	期末考査 (加典中 中町中) 代林 (ハ北小)	
2 (火)		■ (中南小 松井小 八南小 八西小)		休館日	休館日	期末考査 (加典中 中町中)	
3 (水)		◇ (松小15:00~)				期末考査 (加典中 八千代中) オープンスクール (中幼)	
4 (木)		■ (中北小 松井小 ハ北小)				期末考査 (ハ千代中) オープンスクール (中幼)	
5 (金)		■ (中南小 杉小)				期末考査 (ハ千代中) オープンスクール (中幼)	
6 (土)	自由開放日(9:00~12:00)	♪ 児童館教室(9:30~)	♪ 唱歌(13:30~) ▲ 劇(13:30~) ○ ○ (18:30~)				6年小れあいキャンプ (ハ西小)
7 (日)	休館日	休館日	休館日	♪ 子育てのおおぞらでんぐり(9:30~)			6年小れあいキャンプ (ハ西小)
8 (月)							
9 (火)		■ (中南小 松井小 八南小 八西小)					
10 (水)		◇ (松小15:00~)					
11 (木)		■ (中北小)					
12 (金)		■ (中南小 杉小 八西小)					
13 (土)	休館日	♪ 児童館教室(9:30~)	♪ 子育ておもしろ科学教室 (ハ千代プラザ内) (9:30~)		おはなし会(10:30~)		
14 (日)	休館日	♪ 道南児童館(10:30~) 子育ておもしろ科学教室(10:30~)	休館日	♪ 東山古墳新めぐり(10:00~) ♪ 子育ておもしろ科学教室(10:30~)			道南まつり (パルティホール18:00~)
15 (月)							
16 (火)		■ (中南小 八南小 八西小)					
17 (水)		◇ (松小15:00~)					
18 (木)							
19 (金)						町内小中学校終業式	
20 (土)	自由開放日(9:00~12:00)	♪ 児童館教室(9:30~)	♪ 唱歌(13:30~) 劇(13:30~) ○ ○ (18:30~)	♪ 子育ておもしろ科学教室(10:30~)			道南中学校総合体育大会 6年親子小れあいキャンプ(八南小)
21 (日)	休館日	休館日	休館日	休館日	休館日		道南中学校総合体育大会 6年親子小れあいキャンプ(八南小)
22 (月)							道南中学校総合体育大会予備日
23 (火)							
24 (水)		◇ (松小15:00~)					
25 (木)							水泳記録会 (町内全小中学校)
26 (金)							
27 (土)	休館日		♪ おもしろ科学教室 (パルティホール内) (9:30~)		おはなし会(10:30~)		
28 (日)	休館日	♪ 道南児童館(10:30~) 子育ておもしろ科学教室(10:30~)	休館日	♪ 子育ておもしろ科学教室(10:30~)			
29 (月)							
30 (火)							
31 (水)		◇ (松小15:00~)					

アイコンの見方
 ■=放課後子ども広場
 ◇=冒険ひろば
 ♪=事前申込必要 ※=有料
 ●=書道教室 (中児童館)
 ▲=すくすく教室 (中児童館)
 ■=工作教室 (中児童館)
 ○=書き方教室 (みなみ児童館)

行事予定は予告なしで変更になることがあります。
 ・事前に申込が必要なものや人数・年齢制限のあるものもあります。
 ・各施設へお問い合わせの上ご利用下さい。
 ・町行事、学校行事につきましては紙面の関係上、主なものだけを掲載しております。
 詳細は、町広報や各学校のお便り等をご参考して下さい。

壁などに貼ってご利用ください。

多可町内には5つの学童保育施設(クラブ)があり、小学校1年生から3年生の児童約250人が利用しており、指導員約25名で保育を行っています。学校からクラブに「ただいま!!」と元気よく帰ってくる子ども達に、「おかえり〜」と迎えるのが日課となっています。カバンなどを片付けた後、手洗い、宿題、おやつ、そして遊びと、集団生活のルールを守りながら自宅と変わらないような雰囲気でも過ごせるよう心掛けて

学童保育指導員の資質向上を目指して

子ども向けカレンダー発行 今日どこに行こうかな? 昨年まで年3回発行の子どもタイムズ通常号に掲載していた子ども向けイベント情報を、今年の4月から2ヶ月おきに別刷りで発行することにしました。多可町内で開催される様々な子ども向けの行事、イベントをまとめて上に示したような一覧表にして印刷し、各学校園を通じて児童生徒の皆さんにお配りしていきます。また、多可町教育委員会のホームページにも掲載しています。ご家庭でも是非ご利用下さい。



(みんな大好きおやつ時間)

います。そんな中、指導員の資質向上を目指そうと、平成25年度から新たな試みとして、指導員がそれぞれのクラブに出向き研修を行う予定にしています。その先駆けとして、3月8日に主任指導員5名が1つのクラブに集結し、播磨東教育事務所の特別支援教育支援アドバイザーの助言の下、実地研修を行いました。発達障害の子どものへの対応や他のクラブの1日の流れを見ることが出来る貴重な機会となりました。このように、他のクラブで実地研修する中でいい面は吸収し、改善点はお互いに確認する中で、指導員としての意識をより高めていければと思います。

※ご意見・ご感想をお寄せ下さい
 【お問い合わせ先】 多可町教育委員会こども未来課 TEL:0795-32-2385 FAX:0795-32-4142 E-mail kodomo@town.taka.lg.jp